

新型コロナウイルス感染症発生を振り返って

誠和荘荘長 村田吉隆

新型コロナウイルス感染の第6波もようやく収まりかけた4月25日の午後、特養3階入所者の方にいつもより発熱者が多いとの報告を受けました。

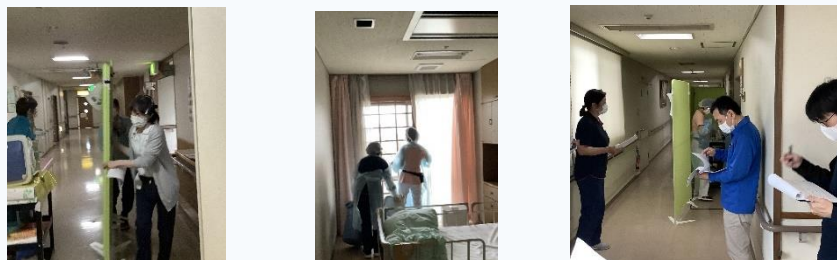
特養では、普段から37度代の方が数名おられる状況です。この間、職員に新型コロナウイルス感染者はもとより体調不良者もいませんでした。この発熱状況を嘱託医と相談して発熱された7名の方に、抗原検査を実施した結果5名の方が陽性と判明しました。これ以上感染拡大しないように陽性者の隔離やゾーン分け濃厚接触者の特定などを行い、濃厚接触者と判断した入所者12名の追加検査を実施した結果、さらに無症状者を含め2名が陽性とわかり、この日陽性者計7名。最初の対応を終えたのが午後8時、3階は病棟の様相を呈してきました。

保健センター等関係機関に連絡し、翌日には、入所者全員と特養を含め職員全員に対して抗原検査を実施。入所者の内、無症状者2名を含め4名が陽性と判明しました。すべて3階の入所者の方でした。この日から既陽性者以外の入所者及び特養職員全員の毎日の抗原検査と職員総動員体制がはじまりました。

新型コロナウイルス感染症の研修や4月15に行った同感染症対策訓練が役立つこととなりましたがすべての対応が初めてのことばかり。感染対策ミスをしていないように、丁寧に丁寧に。今回感染されました入所者の方は、幸いにもおおむね軽症で5月19日には通常の生活に戻っていただけました。隔離となられた方、入所者の方やそのご家族様には、ご不安な日々であったこととお詫び申し上げます。そんな中ご家族様から激励や温かい言葉をいただきましたことで、職員が勇気づけられました。もし自分が感染して入所者様や自分の家族を感染させてしまわないかと、不安と闘いながら汗をだらだら流しN95マスクや防護服等を着用して介護・看護を続けた職員や応援職員、隔離にご協力をいただいた入所者の方には、敬意と感謝とでいっぱいです。感染が終息しました今、どのような経緯で特養の入所者の方に感染したのか、入所者の方の受診歴などをたぐっても未だわかりませんが、初動の重要さは痛感しております。特養は生活の場であることを忘れないようにしながらも、発熱者には48時間隔離対応・抗原検査の徹底で万一感染があっても最小限に食い止められるよう、より一層感染防止対策を徹底し職員一同全力あげて取り組んで参ります。

最後になりますが、ご協力いただきました入所者様、新型コロナウイルス感染症者を精力的にご診察いただきました、にん内科の先生を始め関係機関の皆様にご感謝申し上げます。

これからも、入所者に安心、安全を届けられ寄り添える施設であるよう努めてまいります。



令和4年4月15日新型コロナウイルス感染症対策訓練の状況



令和3年度 誠和荘の財務状況について

令和3年度の養護老人ホーム誠和荘拠点及び特別養護老人ホーム誠和荘拠点の決算については、QRコードを参照して下さい。

養護拠点決算書



特養拠点決算書



養護

春祭り

令和4年4月21日(木)に例年、お天気に恵まれ屋外で開催しておりました春祭りですが、今年は残念ながら雨が降ってしまったため、誠和荘室内での開催となりました。コロナ禍以前は併設の特別養護老人ホームの利用者様たちと一緒に、地域のボランティアの方々による踊りや太鼓など見て、楽しんでいただいていたが、昨年同様今年も規模を縮小して行いました。

今年の春祭りは、ビンゴ大会やカラオケ大会、桜にとまれゲームを行い、コロケやプリン、団子など食事も皆様に楽しんでいただきました。コロナの影響で現在も皆様の生活に制限がかかっておりますが、春祭りで少しでも気分転換ができましたら嬉しいです。



コロナ禍でも春を楽しむ。特養

特養では、各フロアにてプランターに花の苗の植え込み作業を行い、植え込み終えた花を鑑賞しながら、好みの飲み物やいちごを食べて春の味覚をゆっくりと味わい、昼食には割子や花のねりきり、抹茶ラテを楽しむことができました。



養護

荘内運動会

令和4年6月15日(水)梅雨に入り、雨降りの為、屋内にて養護運動会を開催しました。競技種目は、「輪投げ」と、「赤ちゃん引きリレー」を行いました。輪投げでは、今年も昨年に引き続き名古屋市の輪投げ大会がコロナの影響で中止となり、日頃の練習の成果の発表ができない方が多くおり、参加された方は、一投一投集中して大会さながらに投てきをされていました。赤ちゃんリレーでは、赤ちゃんを転ばせないよう、大事に大事に運び、次の方へ繋げる姿が印象的でした。



特養

コロナに負けるな 体を動かそう!

令和4年6月30日(木)に少し遅れての特養運動会を開催しました。今年は、各フロアにて「輪投げ」を行いました。職員の「入ったあー」「がんばれ!」「やったー!」の掛け声が響く中、入所者の皆さん真剣な顔つきになり、的に狙いをつけて投げ込んでいました。得点が入るたびにたくさんの笑顔がみられ楽しんでいる様子でした。



デイサービスセンター誠和荘



4月から5月にかけては各所で新型コロナウイルスの感染拡大がみられましたが、幸いにもデイサービスセンター誠和荘はお休みすることなく営業することができました。



これはご利用者様、ご家族様、関係者の皆様の日頃からの感染予防への取り組みが実を結んだものであり、職員一同心からの感謝を申し上げます。引き続き感染予防対策に全力で努めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

菖蒲湯

5月3日(火)、4日(水)、5日(木)の3日間、端午の節句に菖蒲湯を楽しんでいただきました。年に1度の厄払いとして職員も皆様の健康をお祈りさせていただきました。次は12月に入浴行事としてゆず湯を企画しております。



運動会

5月25日(水)、26日(木)は「デイサービス運動会」を開催しました。競技の前にまずは準備体操を行い紅白のチームに分かれて体を動かしていただきました。ひもの先に付けた菓子パンを卓上のコースから落とさないように手元まで引き



寄せる「パン引き競争」と、おたまにのせたボールが落ちないようにバランスをとりながら順々に隣に座った人に渡していく「おたまりレー」を行いました。

競技が始まるとみなさん熱心に「がんばれ！がんばれ！」と応援してくださりました。久しぶりにご利用される方もみえましたが、デイサービスの賑やかな雰囲気を楽しんでおられました。



屋外レクリエーション

6月2日(木)と3日(金)はピロティで屋外レクリエーションとして「スリッパ飛ばし」(2日)、と「紙飛行機」(3日)をそれぞれ行いました。力が入りすぎてスリッパや紙飛行機がなかなか前に飛ばない方もおられるなど笑顔の絶えない時間となりました。

両日ともたいへん暑い日となり、時折吹く風が心地よく感じられ「風が気持ちいいね」とみなさん言うておられました。

熱中症に十分注意して水分補給しながら、体を動かしていただきました。今後ともみなさまに楽しんでいただけるようレクリエーションを企画してまいります。



サロン誠和のご案内

3密を避け、ソーシャルディスタンスを保ち、開催します。
マスクを着用しながらですが、楽しみましょう(^^)

◆民 踊 (地域定員5名程度)

7月26日(火) 9月27日(火)
午後1時30分～3時



6月28日に行われた様子です

※新型コロナウイルス感染症の流行により中止・変更があります。

開催日の前日までに事前の確認をお願いします。



◆バラエティ (地域定員5名程度)

7月14日(火) 9月6日(火) 風船バレー
午後1時30分～3時

◆健康体操 (地域定員10名程度)

7月21日(木) 9月15日(木)
午後1時30分～3時

熱中症での救急搬送が急増中。今が大事、熱中症対策！

湿度が高く、熱中症を起こしやすい季節になりました。

熱中症は、暑さと脱水により、体温調節がうまく機能しなくなって体に熱がこもった状態です。めまい、立ちくらみ、大量の汗、こむら返りなどが初期症状で、この段階で気づくことができれば、水分・塩分補給をし、涼しいところで休むことで回復します。しかし、症状が進み、頭痛や嘔吐、倦怠感、ぼーっとするなどの症状があれば、医療機関を受診しましょう。

予防では、過度な暑さを避ける、こまめな水分補給をする、体を暑さに慣らす(冷やしすぎない)、規則正しい生活で自律神経を整える、などを心がけましょう。炎天下より室内の方が初期症状に気付きにくく、マスク着用時はのどの渇きにも気付きにくいので、意識して水分をとることが重要です。

今年の夏は、新型コロナウイルス感染症の影響でマスクが外せない状況になっています。

こんな状況の中、熱中症にならないためには正しい知識と予防が必要です！

今年の夏の熱中症予防ポイント

- 屋外で十分な距離(2m以上)が確保できる場合はマスクをはずしましょう
- マスクを着用している場合は強い負荷の作業、運動は避けましょう
- 感染症予防で換気した後はエアコンを強にするなどエアコンの設定をこまめに調整しましょう。

暑い夏を健康で乗り切りましょう！



おもな行事予定

7月 セタまつり
8月 夏祭り
9月 敬老祝賀会

編集・発行 社会福祉法人 八起社

養護老人ホーム誠和荘 特別養護老人ホーム誠和荘 デイサービスセンター誠和荘
誠和荘居宅介護支援事業所 誠和荘短期入所生活介護事業所

〒468-0001 名古屋市中白区植田山2丁目101番地

052-781-2859

